

漁業後継者育成研修事業

小笠原大郎・伊藤良博

目 的

漁業者の減少と高齢化が進行し、漁業後継者が不足していることから、本県水産業の維持・発展を図るため、短期研修(通称「賓陽塾」)を実施し、優れた漁業者を確保・育成する。

研修結果

1. 漁業基礎研修

漁業に就業して間もない人、漁業への就業を希望している人を対象に、基本的な漁業技術・知識習得のため実施した。

(1) 研修期間

平成 26 年 6 月 2 日～同年 8 月 1 日

(2) 受講生

受講生数は 9 名であり、出身地内訳は平内町 4 名、野辺地町 4 名、六ヶ所村 1 名であった。

(3) 研修内容

- ・水産知識 水産に関する基礎知識、漁業関係法令・制度など(表 1)
- ・漁業技術 ロープワーク、さし網・籠・釣り漁業など(表 2)
- ・視察研修 県内の水産関連施設(表 3)

2. 現地研修

「賓陽塾」受講生のうち希望者を対象に、現地漁業実習(定置網、イカ釣り、ホタテ貝養殖など)及び水産加工実習(水産物の加工、漁獲物の鮮度保持)を行う研修であるが、希望者が無いため実施しなかった。

3. 資格取得講習

「賓陽塾」受講生のうち希望者を対象に、漁業へ就業する上で必要な一級・二級小型船舶操縦士及び第三級海上特殊無線技士の資格取得のため実施した(表 4)。

4. 出前講座

漁業者の団体等を対象に、漁業技術等のレベルアップのため、現地においてロープワーク等の技術講習を実施した(表 5)。

表 1 水産知識

月 日	内 容	講 師 所 属 ・ 氏 名
6月3日	水産総合研究所の概要	水産総合研究所 佐藤企画経営監
6月9日	ホタテガイ天然採苗技術について	伊藤総括研究管理員
6月16日	簿記・漁業経営	青森県農林水産部農林水産政策課農業普及改良グループ 阿保主幹
6月23日	漁業制度の概要	青森県農林水産部水産局水産振興課 中田グループマネージャー
〃	栽培漁業・資源管理について	〃 〃 吉田サブマネージャー
6月30日	漁船・方位の見方・海上航行のルール	水産総合研究所 小笠原技師
7月7日	海図の知識・使い方	〃 〃

表 2 漁業技術

月 日	内 容	
	ロープワーク	沿岸漁業実習
6月3日～6月25日	端止め、基本的な結び方、石・玉からめ、三打ちロープの接合、クロスロープの接合	かご・さし網・釣り漁業、操船実習
7月1日～7月31日	クロスロープの接合、サザンクロスロープの接合、基本的な結び方、基本的な漁網補修技術、ワイヤーロープの接合	かご・さし網・釣り漁業、試験船「なつどまり」乗船実習

表 3 視察研修

月 日	視察先
6月20日	公益社団法人青森県栽培漁業振興協会、八食センター、試験船「開運丸」

表 4 資格取得講習

資 格	開講期間	開催場所	受講者数	合格者数	備 考
一級・二級小型船舶操縦士	8月18日～8月21日	水産総合研究所	二級 6	二級 6	
第三級海上特殊無線技士	10月26日	八戸水産会館	1	1	希望者を県内開催の講習へ斡旋

表 5 出前講座

月 日	開催場所	受講者の所属	受講者数	講座内容
9月26日	車力漁業協同組合	車力しじみ青年部会	8	基本的な結び方、三打ちロープの接合
3月17日	尻労漁村センター	尻労漁業研究会	13	クロスロープの接合

漁業基礎研修実施状況



水産知識(簿記・漁業経営)



ロープワーク(クロスロープさつま加工)



さし網漁業実習



視察研修(青森県栽培漁業振興協会)

資格取得講習実施状況



小型船舶操縦士学科講習



小型船舶操縦士学実技教習

出前講座実施状況



基本的な結び方・三打ちロープの接合
(車力漁協しじみ生産部会)



クロスロープの接合
(尻労漁業研究会)